



SIP コールの保留

SBC の SIP コール保留機能を使用すると、コール元を保留にする標準のテレフォニー サービスを提供できます。コールの一方が相手を「保留」にする場合、セッション記述プロトコル (SDP) を変更した INVITE 要求を送信することにより、相手をリインバイト (re-INVITE) します。SIP エンドポイントがコールを保留するか、またはコール保留の re-INVITE に応答する場合は、適切な方式を選択します。SBC は、SIP デバイスとの相互運用を最大限に高めるために、使用可能ないずれかのメソッドを使用するようにコール保留 SDP を変更します。

SIP コール保留の機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.4.1	この機能は、Cisco XR 12000 シリーズ ルータで導入されました。
リリース 3.5.0	変更なし。

内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- [「SBC の SIP コール保留に関する情報」 \(P.201\)](#)
- [「SIP コール保留の設定方法」 \(P.202\)](#)
- [「その他の関連資料」 \(P.204\)](#)

SBC の SIP コール保留に関する情報

SBC は、SDP を使用して SIP re-INVITE を受け入れ、送信者がコールを保留することを通知します。SBC は、必要に応じて SDP オファーを変更し、リモートエンドポイント アドレスを既知の DBE メディア アドレスに置換します。さらに、変更後の SDP を記載した SIP メッセージをリモートエンドポイントに転送します。

保留されようとしているエンドポイントが re-INVITE を拒否した場合、保留エンドポイント (コール保留を発信したエンドポイント) にエラー応答が返されます。DBE のメディア ゲートは接続されたままとなり、メディアは以前と同様に伝送を続けます。

SIP コール保留の設定方法

ここでは、保留中のコールに「メディアなし」によるタイムアウト期間を設定する手順について説明します。

SIP コール保留の設定

手順の概要

1. **configure**
2. **sbc service-name**
3. **sbe**
4. **hold-media-timeout timeout**
5. **commit**
6. **exit**
7. **show services sbc service-name sbe hold-media-timeout**
8. **show services sbc service-name sbe calls**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure 例： RP/0/0/CPU0:router# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	sbc service-name 例： RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc	SBC サービスのモードを開始します。 <i>service-name</i> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ3	sbe 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# sbe	SBC の Signaling Border Element (SBE) 機能のモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	<pre>hold-media-timeout timeout</pre> <p>例:</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# hold-media-timeout 7200</pre>	<p>保留中のコールに対して DBE からメディア タイムアウト通知を受信してから、コールを削除するまでに SBE が待機する時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> DBE は、コールでメディアが停止したことを検出すると、DBE メディア タイムアウト CLI コマンドを使用して、タイマーを指定された期間実行します。 このタイマーが期限切れになる前にメディアが伝送されない場合、DBE は SBE にピンホール タイムアウト イベント通知を送信します。 コールが保留中の場合、SBE は、このコマンドで設定された値と一致する期間をタイマーに設定します。 SBE タイマーが期限切れになる前にコールの保留状態が解除されない場合、コールは削除されます。 <p>このコマンドのデフォルト値はオフです。特定の期間が設定されない限り、保留中のコールはタイムアウトになりません。</p>
ステップ5	<pre>commit</pre> <p>例:</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# commit</pre>	<p>設定変更を保存します。実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存し、コンフィギュレーションセッションを継続するには、commit コマンドを使用します。</p>
ステップ6	<pre>exit</pre> <p>例:</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# exit</pre>	<p>コンフィギュレーションセッションを終了し、SBC モードに戻ります。</p>
ステップ7	<pre>show services sbc sbc-name sbe hold-media-timeout</pre> <p>例:</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# show services sbc mysbc sbe hold-media-timeout</pre>	<p>保留中のコールのメディア タイムアウト タイマーに現在設定されている期間を表示します。</p>
ステップ8	<pre>show services sbc sbc-name sbe calls</pre> <p>例:</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# show services sbc mysbc sbe calls</pre>	<p>SBE 上のすべてのコールをリストします。</p>

SIP コール保留の設定例

次のコマンドでは、SBE が保留中のコールにある最後のメディア パケットを受信してから、コールリソースをクリーンするまで 2 時間待機するように設定します。

```
RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc sbe hold-media-timeout 7200
```

その他の関連資料

ここでは、SBC の SIP コール保留のサポートに関する関連資料について説明します。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

MIB

MIB	MIB のリンク
—	Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。 http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml

RFC

RFC	タイトル
RFC 3261	『SIP: Session Initiation Protocol』
RFC 2543	『Session Initiation Protocol』
RFC 3515	『Session Initiation Protocol (SIP) Refer Method』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html

